

# 誰もが夢や希望を持てる

## 地域共生社会の実現に向けて

社会福祉法人 京都府社会福祉協議会

会長 小畑 英明



新年明けましておめでとーうございま  
す。

皆様方には、昨年も福祉・介護サービ  
スの提供や各種相談・支援など地域福祉  
の最前線で日夜御奮闘いただいたこと  
に心からの感謝と敬意を表します。

さて、コロナ感染とウクライナ戦争や  
円安などによる物価高騰が生活に困窮  
する方々にとりわけ深刻な影響を及ぼ  
し、生活不安、格差の拡大、孤立・孤独  
などの問題が拡がり、人と人との絆や交  
流、地域のつながり、支え合いが一層大  
切になっています。こうした問題・課題  
に因應していくのが社会福祉活動であり、  
その役割はますます重要になってい  
ると考えます。

しかしその一方で、地域のふれあいや  
交流に制約をもたらし、社会福祉法人や

福祉施設の経営を直撃するなど社会福  
祉活動を取り巻く環境が大変厳しいも  
のになってきているのも事実であります。

こうした中であって、京都府社会福  
祉協議会は第5次中期計画で掲げる「つ  
ながりをいかして、だれもが尊厳をもつ  
ていけることができる社会」を目指し、  
生活が困難な方へのアウトリーチ型の  
フォローアップ支援、福祉を支える人と  
組織への支援、こども・家庭への支援  
SDGsに向けた事業展開などに積極的  
に取り組む、誰一人取り残すことなく皆  
が豊かさや生きがいを感じることで  
できる社会の構築を目指して今年も活動  
を進めていきます。

又、こうした活動を生活や福祉の課題  
が深刻化・複雑化する中で進めていくに  
あたっては、今まで以上に行政や市町村

社協、民生児童委員、社会福祉施設、福  
祉関係団体、ボランティアを始め様々な  
分野の方々との連携を進め、より力強い  
オール京都の体制を構築することが重  
要です。府社協としては、こうした連携  
を強化することによって、誰もが夢と希  
望を持てる地域共生社会の実現に向け  
た歩みを一層確実なものにしていきたく  
いと考えております。今年も引き続きの  
御協力、御支援をお願い申し上げます。

少し話が変わりますが、この新年の挨拶  
を書きながら、一年前の経済四団体の  
賀詞交歓会で令和4年を漢字で表すと  
何になるかと聞かれて「春」という字を  
書いたのを思い出しました。コロナ感染  
も少しずつ収まり、コロナ禍の冬が終わ  
り「春」が来るのではないか、その様な  
年にしていかねばならないとの思いを

込めたものでした。しかしながらその2  
か月後にロシアのウクライナ侵攻が始  
まり、戦争、経済制裁、エネルギー危機、  
インフレと想像もしなかった厳しい一  
年になってしまいました。今年<sup>みずのとう</sup>は癸卯の  
年、寒気が緩み萌芽を促す年だそう  
です。今年こそ新芽が萌える「春」の年になる  
事を祈るとともに、一人でも多くの人に  
希望溢れる「春」が訪れるよう、社会福  
祉活動の輪を一層広げていかねばなら  
ないと決意しております。

皆さまにとって今年が素晴らしい飛  
躍の年となりますことをお祈りし、新年  
の御挨拶といたします。

